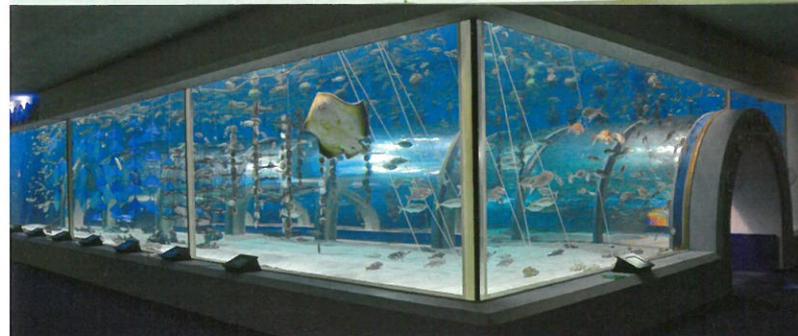
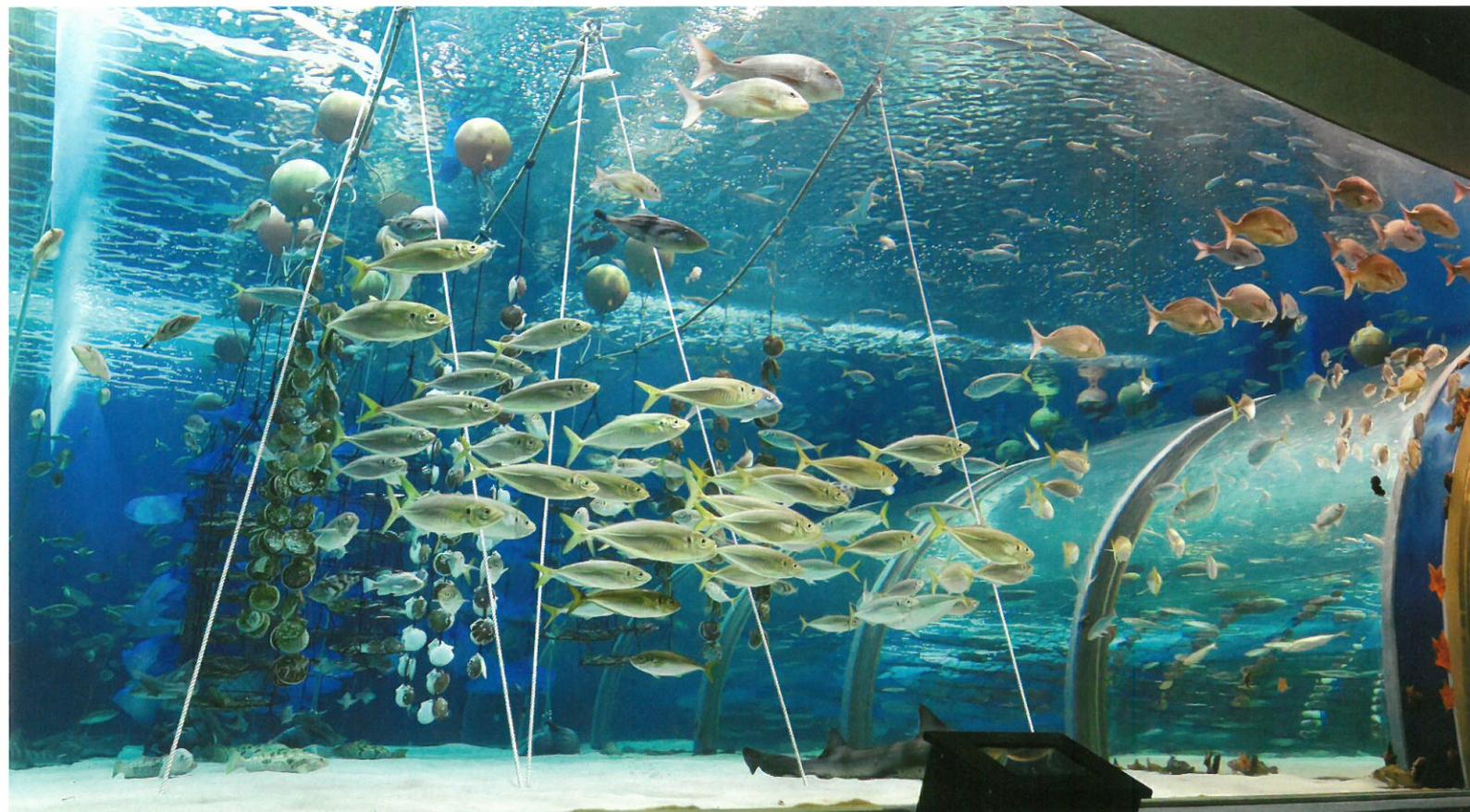


# Marine Snow

@asamushi aquarium



2016

## 海洋大水槽リニューアルオープン ～むつ湾の海～

平成27年12月19日、海洋大水槽が『むつ湾の海』としてリニューアルオープンしました。

海洋大水槽の大規模なリニューアルは、1983年の開館から今回2度目となります。新たな水槽の展示テーマは『むつ湾の海』です。これは地域性を踏まえた独自性のある水族館としての展示を目指して行くことを念頭に決定されました。展示の中心は、青森県の主要水産物である「ホタテガイ」の養殖施設をそのまま水槽内に再現し、様々な養殖過程を紹介することです。また、ホタテ以外に養殖されている「マボヤ」「アカガイ」「ミネフジツボ」や、むつ湾に生息する生物としてナマコやヒトデ類、マダイ、マサバ、マアジ、ヒラメ、カレイ類、ソイ・メバル類等22種約2,800点を展示するものとなっています。

今回のリニューアルのポイントは、これまで水槽内にあり、かなりの容積をとっていた「擬岩」をすべて撤去することと、水槽の底のレベルをアクリル面下端まで底上げし、砂を敷き詰めることです。この2点は水槽内に養殖施設を再現することと、底に棲む生物を見やすくするために欠かせないものになります。

リニューアルに向けた準備作業は平成27年の春先には始め、水槽本体の工事期間である9月29日から12月7日に合わせた作業工程を作成し、様々な作業を進めていきました。新しい展示に必要な生物をいつどこで入手するか、水槽から取り上げた魚や入手した魚をどのようにストックするか、水槽の循環をどのような構造にするかなど課題は山のようにありました。

一番気がかりになったのは工事期間が秋から冬にかけておこなわれることです。生き物をストックするための水槽は、建物

内だけのものでは間に合わず、屋外に仮設水槽を設置することになっています。加温設備はないため、外気温により水温がどこまで影響を受けるのかが懸念されました。特に魚は漁獲される時期が限られてしまう種類もあり、夏前に集めて長期間の蓄養が必要となります。青森の季節変化はとても早いもので秋と呼べる期間は短く、あつという間に冬が訪れてしまいます。果たして水温がどこまで下がるのか、魚たちは耐えられるのか…。しかし、この年は全国的な暖冬に加え、ここ青森でも観測史上最も遅い初雪を記録するなど幸運にも恵まれ、屋外での蓄養を無事に乗り切ることができました。

水槽内に再現される養殖施設は、すべて実際の養殖で使われているもので、養殖過程の生物もできる限り生体を使用するものとなっています。ロープの設置、養殖籠の取り付けなど地元漁師の方々にアドバイスを受けながら自分たちで製作していきました。この作業を通し、改めて養殖作業がどのようなものかを理解し、その苦勞の一端を学ぶことができました。

今回のリニューアルは水槽内にとどまらず、水槽設備やキーパーの改修として、LED照明への切り替え、曝気槽の移設、バックヤードツアーでの安全性を配慮した手すりの設置などがおこなわれ、これまでより明るく見やすい水槽となっています。

これからの課題はさらに魚種、数を拡充し、より「むつ湾の海」に近づけていくことです。

最後に、海洋大水槽のリニューアルにあたり御協力、御指導いただいた関係各漁協及び漁業者の方々に深く感謝申し上げます。



## 13年ぶりの雛誕生!!

平成27年4月末にフンボルトペンギンの雛が13年ぶりに誕生しました。13年間も繁殖が止まっていた最大の要因は飼育個体の老齢化です。これからは展示を維持、継続していくためには、新しい世代がどうしても必要となります。そこで、平成25年から新たな繁殖に向け、唯一繁殖が期待できそうな比較的若いペアの飼育方法を見直すことにしました。

このペアは巣を持っているものの、お互いがあまり関心を持たず、巣に対する執着心も薄かったため、まずは巣に対する執着心を持たせようと、あえてこのペアの巣箱のみに巣材を入れることにしました。最初は巣材を散らすだけだったものの、他の個体に巣材を盗まれるようになると巣材を守るために巣から離れることが少なくなりました。今回は他個体の巣に巣材が入っていないということで競争心が出たのかもしれませんが、残念ながらこの年の繁殖期(当館では毎年10月頃からは産卵は見られなかったものの、この頃から相互の羽づくろいが見られるようになり、ペアの関係が良くなったように思えました。

翌年の繁殖期も最初にこのペアに巣材を与え、他のペアの巣は繁殖行動が見られてから巣材を入れるようにしました。そして10月、ついに初めてこのペアの産卵が見られました。しかし、卵の扱いに慣れていないためか、たった2日で卵を巣の外に蹴飛ばして割ってしまいました。1卵目から3日空けて産んだ

### 小野寺 美奈

2卵目もやはり蹴飛ばしてしまいました。そこで、蹴飛ばしても卵が巣の外に出ないように、これまで使用していた巣箱より深いものにし、しばらく様子を見ることにしました。

年が明け、平成27年3月中旬。再び産卵を確認!!今回は卵を蹴飛ばすこともなく順調に抱卵を続け、4月末に2羽の雛が誕生しました。無事に産まれたとはいえ、このペアは子育ても初めて。まともに卵も温められなかった2羽が雛を育てることができるのかという心配もありましたが、そんな心配はよそに2羽の雛をしっかりと世話し、雛たちは無事に巣立つことができました。さらに同年の11月にも再び産卵し、2羽の雛が誕生!!

今後はこのペアから産まれた子供たちを他の園館と交換し、他のペアからも繁殖させていけるよう、よりいっそう努力していきたいと思えます。

※4月産まれた1羽は事故により12月に死亡しました。最新情報は水族館HP スタッフブログでご覧いただけます。



## 女性限定

## 「水族館に泊まろう ～夢みるマーメイドナイト～」開催

野里 巖

平成27年7月4～5日、「女性限定!! 水族館に泊まろう」が開催されました。恒例イベント「水族館に泊まろう」の女性限定バージョンとして、夕食付で内容も特別なものとし、プレミアム感を感じていただくことができたなら…との想いで企画しました。

初めての企画ということで、どれくらいの方々に参加していただけるのか全く予想がつかない中、名古屋、千葉、山形、と遠方からのご応募もあり、すぐに定員となりました。

当日は飼育係員による「館内ガイドツアー」から始まり、シークレットイベントの「イル



カと記念写真」。このサプライズは大成功!「いい思い出になった。」とお声をいただきました。そして、今回の企画ならではの夕食として、中華buffetのデリバリーが提供され、参加者のお腹を満たしてくれました。夕食後は夜の水族館を自由見学するリラックスタイム。そして就寝はお気に入りの生き物の前で…。浅虫水族館で過ごす一晩が最高の思い出となっただけなのではないでしょうか。このイベントは大変好評であったため、今後も開催していきたいと思えます。



## イルカ・ナイトパフォーマンス開催

竹鼻 瞭

浅虫水族館では毎年「夜の水族館見学会」を定期的に行い、普段は見ることのできない夜の動物の様子を見ていただき、夜の生態を解説しながらお客様に紹介しています。

平成27年9月のシルバーウィークに合わせ、今年はその夜の水族館見学会において、初めてイルカのナイトパフォーマンスを実施しました。

ナイトパフォーマンスは照明やBGMをしっかりと落ち着いた雰囲気のものを使用し、普段の元気いっぱいなイルカパフォーマンスとは違う演出を試みました。不安いっばいでスタートしたナイトパフォーマンスでしたが、お客様の反応は上々。「感動した!」「いつもと雰囲気が違って新鮮だった。」などのお



声をいただき、スタッフ一同胸を撫で下ろしました。

これからも新しいことに挑戦し、進化する水族館を目指していきたいと思えます。

# 2015年の催し物

	Winter		3月	Spring	5月	Summer		9月	Autumn	11月	Winter
	1月	2月		4月		6月	7月	8月	10月		12月
活動 社会教育	☆図画展 10/4~3/31								☆図画展 10/3~3/31		
水槽のランチ		☆トンネル水槽のランチ 2月の日曜日開催		☆トンネル水槽のランチ 4月の日曜日開催		☆トンネル水槽のランチ 6月の日曜日開催		☆トンネル水槽のランチ 8月の日曜日開催	☆トンネル水槽のランチ 10月の日曜日開催		☆トンネル水槽のランチ 12月の日曜日開催
恒例イベント	☆新春祭り inあさむし水族館 1/1~1/4			☆春祭り inあさむし水族館 3/20~5/6			☆水族館に泊まろう 7/4~5 女性限定 7/25~26 親子限定			☆水族館に泊まろう 10/3~4	
今が旬水槽	☆干支水槽 1/1~1/12	☆バレンタイン& ホワイトデー水槽 1/17~3/14		☆香燗温泉水槽 3/20~5/6		☆七夕水槽 5/30~7/7	☆「スルメイカ」展示 7/18~8/23 ☆「津軽鮭」と「ねぶた」 7/18~8/23		☆紅葉さきどり水槽 9/12~10/31		☆クリスマス水槽 11/7~12/25
特別展			☆果実ワークショップ inあさむし水族館 4/18~5/31	☆江戸時代人が見た海の生きものII 4/10~6/30		☆海の危険な生きもの展 6/20~8/23		☆海にまつわるおもちゃ展 9/1~11/3			

## ● 飼育生物

	種類	点数
海水魚	169	3,816
淡水魚	53	1,507
無脊椎動物	73	5,452
両生類	9	74
爬虫類	3	9
イルカ	2	10
アシカ	1	3
アザラシ	2	8
ペンギン	1	12
合計	313	10,891

2015年12月31日現在

## ● 入館者数

	一般	団体	無料	合計
1月	6,296	883	2,635	9,814
2月	5,884	524	2,422	8,830
3月	13,634	1,523	5,424	20,581
4月	13,098	1,649	4,665	19,412
5月	33,654	2,081	11,040	46,775
6月	11,826	8,235	7,971	28,032
7月	18,181	4,337	8,524	31,042
8月	43,663	3,290	12,978	59,931
9月	20,875	3,699	9,028	33,602
10月	10,980	4,026	6,482	21,488
11月	11,164	1,707	4,750	17,621
12月	8,467	809	3,468	12,744
合計	197,722	32,763	79,387	309,872

## ● 表紙説明:むつ湾の海

2015年12月19日にリニューアルオープンした海洋大水槽。

「むつ湾の海」をテーマに、ホタテガイの養殖施設を再現し、そこに暮らす生きものを展示しています。

詳しくは本文1pをご覧ください。

## ● 2015年の主な出来事

- 1月1日 干支水槽展示(1月12日まで)  
イルカショー新春バージョン(1月7日まで)
- 1月17日 バレンタイン&ホワイトデー水槽展示(3月14日まで)
- 1月19日 降雪割引開始(2月28日まで)
- 1月27日 ゼニガタアザラシ共同研究公開実験(北海道大学 三谷准教授)
- 2月7日 トンネル水槽エサやりプレゼント(4月5日まで)
- 3月20日 春爛漫水槽展示(5月6日まで)
- 4月10日 江戸時代の人が見た海の生きもの展II(6月30日まで)
- 4月18日 「オリジナル怪獣をデザインする」青森県立美術館コラボイベント
- 4月26日 フンボルトペンギンの誕生
- 5月30日 七夕水槽展示(7月7日まで)
- 6月20日 海の危険な生きもの展(8月23日まで)
- 7月6日 白いキタムラサキウエの展示
- 7月13日 ウミガメの屋外プールへの移動
- 7月18日 スルメイカの群泳展示、津軽鮭とミニねぶたの展示(8月23日まで)
- 8月29日 ウミガメの甲羅お掃除体験
- 9月1日 昭和のおもちゃ展(11月3日まで)
- 9月12日 紅葉さきどり水槽展示(10月31日まで)
- 9月19日 夜の水族館・イルカ特別ナイトパフォーマンス(9月23日まで)
- 9月28日 トンネル水槽リニューアル工事(12月18日まで)
- 10月15日 移動水族館(弘前市第二養護学校)
- 11月4日 移動水族館(八戸盲学校、八戸聾学校)
- 11月7日 クリスマス水槽展示(12月25日まで)
- 11月15日 フンボルトペンギン誕生
- 12月19日 トンネル水槽リニューアルオープン  
イルカショークリスマスバージョン開催(12月25日まで)
- 12月20日 リニューアルオープン記念コンサート開催
- 12月27日 熱帯大水槽の年末大掃除公開

マリンスノー No.34 2016年3月発行

青森県営浅虫水族館

〒039-3501 青森市浅虫字馬場山1の25

TEL 017-752-3377 FAX 017-752-3379

http://www.asamushi-aqua.com